

地方でできる事をしっかりと！

物販の一人一品以上の購入を



稚内闘争団 鈴木さん

国労仙総支部主催 闘争団交流集会開催

08年6月25日、利府コミュニティセンターにおいて、仙総支部闘争団交流集会を開催しました。

この取り組みは、JR不採用事件の早期解決に向け、物資販売の強化、闘争団の情勢の認識並びに交流を行うため、夏期・年末手当時期の年二回、仙台闘争団を招き、定期的に開催してきました。

集会では、仙台闘争団・佐藤さんから、「四者四団体の枠組みを堅持し、要求である雇用・年金・解決金、これは譲れない要求。解決については、政治決着と言いつつ裁判を行っている」との声があるが、裁判については同時決着。解決の判断は、原告団が行って、四者四団体が入り口から出口ま

で責任を持つ。全体が一つとなって動いている。その事を全体で確認する事が必要だと思っている」と訴え、政治的状況を含めた、この間の闘争団を取り巻く情勢報告を行いました。地本橋本委員長からこの間の地本として取り組み等、報告を行い、支部阿部副委員長から本日行われた各単産要請行動報告、支部物販推進委員会からのこれまでの取り組み・要請が行われました。また、今回は、オルグ活動で来仙していただいた稚内闘争団の鈴木さんも参加し、この間の取り組み、近況報告を行いました。同時に稚内闘争団の物資販売も開催、全て完売しています。尚、この交流会に、宮城県支部八巻副委員長、千葉執行委員も参加し、交流を行いました。

支部物販推進委員会より

これまで支部物販推進会では、担当者を決め、組合員皆さんのご協力により、毎月のアルバの物販、6月に取組む稚内闘争団の物販、地方本部提起の手当の焼酎セット、年間を通してのうまい味の会の取り組みを行ってきました。昨年の年末手当での

これまで支部物販推進会では、担当者を決め、組合員皆さんのご協力により、毎月のアルバの物販、6月に取組む稚内闘争団の物販の一人一品以上の購入が取り組まれます。年々売りが上が減少傾向にありますが、手当の取り組みで力バールしていきなさいと思っています。組合員皆さんのご協力をお願いします。

支部長挨拶

この闘争団交流集会を年二回の取り組みとして定着してきました。私たちもこのように長い期間、集会を設定しなければならぬ事に、怒りと残念な思いが入り交じっています。

今回は稚内闘争団の方も参加します。昨年の宮城県としての稚内闘争団交流行動で当支部の二名の方がお世話になりました。

採用差別の闘いを20年を越させないとこれまで取り組んできましたが、今日まで及んでいません。今年に入り、闘争団の上京行動、東京地本・新幹線地本を中心に、中央省庁の要請行動、国会議事堂前での座り込み行動等、積極的に取り組ん

できました。

そのような中央の取り組みと共に、今春闘、仙台総行動の中で地本書記長の集約の中で、中央の取り組み、地方の取り組みを精一杯取り組んでいこうと提起しています。私たちはこれまで、宮城県出身の国会議員への要請行動、地方自治体の意見書採択の取り組み、機構に対し解決交渉テーブルの設置の要請署名行動、毎月の物販運動等の取り組みを行ってきました。

この集会を設置した当初に意思統一してきた『自分たちのできる事をしっかりとやり抜こう』という事を22年目を迎えた今、再度皆さんと再確認したい。手当のカンパ、一人一品以上の物販の購入等、ご理解とご協力をお願いします。

焼酎セットは、支部の販売目標を大きく上回りました。感謝します。

今回も焼酎セット、稚内闘争団の一夜千し、アルバ物販の一人一品以上の購入が取り組まれます。年々売りが上が減少傾向にありますが、手当の取り組みで力バールしていきなさいと思っています。組合員皆さんのご協力をお願いします。